

	課題分析	授業改善策
国語	<1年>【知】定期考査の正答率より、漢字や文法に関する知識の定着が不十分である。 <2年>【知】定期考査の知識・技能の正答率が低く、授業内で学んだことの定着が不十分である。 <3年>【思】話すこと・聞くこと、読むことに比べて、書くことのポイントが低い。	<1年>【知】小テスト等を定期的に取り入れて生徒自身の課題意識を高め、復習を行わせる。 <2年>【知】知識に関する小テストの取入れや、ノートをこまめに確認する等で定着させていく。 <3年>【思】自分の考えを自分の言葉でまとめる場面を増やす。
社会	<1年>【知】知識の定着が不十分であり、定期考査以外での定期的な知識の確認作業が必要である。 <2年>【思】定期考査より、思考・判断・表現の観点の正答率が低い。 <3年>【思】定期考査より、思考・判断・表現を問う問題の正答率が低い。	<1年>【知】レポート課題以外で小テストなどの実施を積極的に行い、学習への取り組みをより積極的にさせる。 <2年>【思】授業内のまとめプリントを活用して、既習内容のまとめる機会を増やす。 <3年>【思】知識を詰め込むだけでなく、授業内で、思考・判断・表現する時間を今以上にとる。
数学	<1年>【知】計算問題の正答率が低い <2年>【思】既習事項を整理して、順序立てて粘り強く考えることに課題がある。 <3年>【思】思考・判断・表現の観点の評価が低い。	<1年>【知】小テストを継続的に行うとともに、授業でも計算をする時間を増やす。 <2年>【思】論点を細分化して、思考しやすくする。成功を積み重ねて自己肯定感を高め、主体性を底上げする。 <3年>【思】数学的な活動の時間を増やし、授業の中で思考・判断・表現を養っていく。
理科	<1年>【思】思考・判断・表現について問う問題の正答率が低い。 <2年>【主】発言や振り返りの活動を見ると、受動的であったり粘り強く探究したりする様子が低い。 <3年>【思】思考・判断・表現について問う問題の正答率が低い。	<1年>【思】これらの問題に取り組む時間を増やし、自分で問題が解けるようにする。 <2年>【主】学習してきた内容を定期的に振り返ったり活用したりする課題を増やす。自らの興味関心に合わせて作成するレポート課題を取り入れる。 <3年>【思】レポートの考察や授業での話し合いなど記述・表現に取り組む時間や方法を増やす。
音楽	<1年>【知】 ○基礎的な音楽の力（読譜力、発声の仕方、音楽文化についての知識等）の定着度に個人差がある。 <2年>【主】 ○昨年より授業に取り組む態度がよくなった。だが、発言やリフレクションによる変化を見ると、受身となっている面が見られるため、主体的に音楽活動に取り組もうとする意識を高める。 <3年>【思】 ○自分が音楽を味わい、感じたことを、音楽の特徴と結び付けて捉える力を高め、表現や鑑賞の活動をより深いものにしていきたい。また、リフレクションによる変化がもっと活発になるようにしていきたい。	<1年>【知】 ○基礎・基本の定着を目指し、反復学習、スモールステップの学習を多く取り入れる。 <2年>【主】 ○少人数グループで生徒主体に活動し、お互いに意見を認め合う場面を、授業の中に取り入れる。 ○今日何を学び、何をもっと深めたいのか、次につながる授業になるよう、授業のまとめ方を工夫する。 <3年>【思】 ○音楽を形作っている要素を常に意識できるよう、掲示物やワークシートを用いて授業を行う。 ○音楽から感じたことを深めるために、感じたことの生徒同士の交流の場面を、いろいろな方法（発表、プリント交換、少人数での話し合い等）で設定する。

美術	<1年>【主】班での話し合い、発表に苦手意識が見られる。 <2年>【知】授業に集中できず課題に対する理解に欠けるものが見られる。 <3年>【思】作品の表現が短絡的で、深められていない。	<1年>【主】美術において意見に間違いは無いことを繰り返し伝え、自分の意見に自信を持たせる。 <2年>【知】口頭や板書だけでなく、プリント資料も使って理解を促すようにする。 <3年>【思】アイデアスケッチの段階で、もうひと工夫できないか考えさせる声かけをする。
保健体育	<1年>【思】思考・判断・表現について問う問題の正答率が低い。 <2年>【主】深い学びの鍵である「見方・考え方を働かせる」ことが乏しい。 <3年>【思】戦術学習や技術練習での話し合い活動や教え合い活動の積極性に個人差が大きい。	<1年>【思】対話する・振り返る・比較するなどの言語活動を意識して授業に取り入れる。 <2年>【主】どのような視点で物事を捉え、思考していくかを単元の中核に設定する。 <3年>【思】話し合いの型を示したり、視点を提示したりした話し合いの場を設定し、評価する。
技術家庭	<1年>【思】自分の考えをまとめ、発表したり、作品として表現したりすることに苦手意識のある生徒がいる。 <2年>【主】やや受け身な面が見られ、自分事として主体的に取り組めない生徒がいる。 <3年>【主】これまでの知識・技能を生かし、作品や文章で十分に表現させたい。	<1年>【思】考えたり、話し合ったりする場面を設定する際に、具体的な視点や具体例を示す。 <2年>【主】課題設定を十分に行い、話し合い活動やタブレットでの作品記録を通し、見通しをもち取り組めるようにする。 <3年>【主】タブレットで作品を撮影させ、自分の作品や製作について客観的に振り返り、改善点を検討できるようにする。
外国語	<1年>【知】 ○小学校で英語に多く触れているので会話には慣れてスムーズではあるが、それを表現する時の使い方や文法上の変化などに課題がある。しっかり文法指導を行い、確かな基礎学力を身に付ける必要がある。 <2年>【思】 自分のことを英語で表現したり、文を一から作ったりすることに対して苦手意識を持っている。 <3年>【思】 知識としてもっているけども、場面に応じて適切な表現を使い分けることに苦戦している。	<1年>【知】 ○文法をしっかりと定着できるように、ワークシートやタブレットを活用することで復習しやすい環境を整える。帯活動で既習事項をスパイラル的に学習することで定着を図る。協働学習を通してお互いに教え合う環境を与えることで質問しやすい雰囲気を作る。 <2年>【思】 英語で自己表現する問題を授業内で増やし、授業後各担当教員からフィードバックをもらえるようにする。 <3年>【思】 場面・状況を設定した会話活動の機会を増やすことで、適切な選択ができるようにする。